

VI 令和4年度「文化芸術による子供育成総合事業 出演希望調書(実演芸術)」

分野、種目(該当する分野、種目を選択してください。)

分野	伝統芸能	種目	歌舞伎・能楽
----	------	----	--------

申請区分(申請する区分を選択してください。)

申請区分	A区分のみ
------	-------

複数申請の有無(該当する方を選択してください。)

複数申請の有無	無
---------	---

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当するものを選択してください。)

※複数申請の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

複数の企画が採択された場合の実施体制	
--------------------	--

その他を選択した場合	
------------	--

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	かぶしがいいしゃ まんさくのかい 株式会社 万作の会		
代表者職・氏名	代表取締役 野村 二郎		
制作団体所在地	〒 112-0014		
	東京都文京区関口2-2-7		
電話番号	03-5981-9777	FAX番号	03-5981-9789
ふりがな 公演団体名	まんさくのかい 万作の会		
代表者職・氏名	代表者 野村 万作		
公演団体所在地	〒 112-0014		
	東京都文京区関口2-2-7		
制作団体 設立年月	1992年 3月		
制作団体組織	役職員	団体構成員及び加入条件等	
	代表取締役 野村二郎 取締役 野村武司・野村若葉子・三藤葉子	(1) 団体構成員…狂言師、または修業中の者 (2) 加入条件…野村万作が各分野で必要と認めた者	
事務体制の担当	他の業務と兼任	本事業担当者名	小俣 美登里
経理処理等の 監査担当の有無	有	経理責任者名	黒澤 理英

制作団体沿革	1992年株式会社として設立。 人間国宝・文化功労者の狂言師、野村万作と、その長男・野村萬斎を中心に、年10回程の主催公演を始め、劇場主催公演の企画制作など、国内外で公演を行い、狂言の普及に努める。 主催公演:「万作を観る会」(東京公演1992以前～、名古屋公演1998～) 「狂言ござる乃座」(東京1987～年2回、名古屋1998～、京都2006～) 「野村狂言座」(東京1998～年4回) よこはま「万作・萬斎の会」(横浜2000～) 「狂言ざん座」(東京2006～) 「狂言このあたり乃会」(東京2018～)など			
学校等における 公演実績	令和3年度実績・予定 ・世田谷区内小学校対象公演(狂言ワークショップ、狂言「附子」上演) 28回予定 ・新潟県柏崎市・柏崎南中鑑賞会(解説、狂言「長光」上演) ・練馬区内小学校公演(狂言ワークショップ、袴狂言「盆山」) 5回予定 ・開成中学校 狂言鑑賞会(解説と狂言2番上演) ・練馬区立大泉学園中学校 狂言鑑賞会(狂言ワークショップ、狂言「盆山」「附子」上演) ・東京都教育庁主催 中学・高校生対象狂言鑑賞会(解説と狂言2番上演) ・早稲田実業学校中等部 狂言鑑賞会(解説と狂言2番上演)			
特別支援学校に おける公演実績	平成25・27・29年 大阪府の国際障害者交流センター ビッグアイ主催「バリアフリー狂言会」に出演。 解説と狂言2番をあらゆるハンディに対する鑑賞サポート付きで上演。 平成26年度本事業で、山梨県立ろう学校にてワークショップ・公演を実施。 令和元年度本事業で、栃木県立盲学校にてワークショップ・公演を実施。			
参考資料の有無	A	申請する演目のチラシパンフレット等	有	
		申請する演目のDVDまたはWEB公開資料	有	
		※公開資料有の場合URL	https://www.kodomogeijutsu.go.jp/video/traditional/a09.html	
		※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード	ID:	
		PW:		
	Aの提出が困難な場合	今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容のDVDまたはWEB公開資料		
		※公開資料有の場合URL		
※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード		ID:		
	PW:			

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 万作の会 】

対象	-	小学生(低学年)	○	中学生		
	○	小学生(中学年)				
	○	小学生(高学年)				
企画名	日本の伝統芸能「狂言」を楽しもう ～体験と鑑賞～					
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	【解説】 「狂言を楽しもう」(約20分) 【鑑賞】 狂言「盆山」(約15分)・狂言「附子」(約20分) 【共演体験】 狂言「蝸牛」より…囃子言葉の掛け合いの場面(約20分) ※古典狂言の作品のため、いずれも作者未詳 公演時間(約90分※休憩時間を含む)					
著作権	○	制作団体が所有	制作団体以外が所有する事項が含まれる	(制作団体以外が所有する事項が含まれる場合) 許諾状況		
演目概要	解説「狂言を楽しもう」 日本の伝統芸能「狂言」について、その歴史や題材・内容の特徴、洗練された豊かな表現技法、舞台や装束、演目の見どころや楽しみ方を解説します。 ・狂言「盆山(ぼんさん)」 ある男が、知人の家に盆山(盆の上に風景を作った置物)を盗みに入るが、さっそく見つけられてしまう。家主は物陰に隠れた男を、盗人かと思えば狼だ、大だとからかう。必死の物真似でごまかそうとする男だが、最後に難問を出され…。 ・狂言「附子(ぶす)」 主人に留守番を言いつけられた太郎冠者と次郎冠者。猛毒の附子が入っているので決して近づくな、といわれた桶の中身を怖々探ると、何と正体は砂糖！二人は夢中で食べてしまう。さて言い訳をどうしようと、相談を始める二人だが…。 ・狂言「蝸牛(かぎゅう)」※共演体験として囃子言葉の掛け合いの場面上演 主人の命で、長寿の薬になる蝸牛(かたつむり)を取りにきた太郎冠者。かたつむりと間違えられた山伏は、太郎冠者をからかってかたつむりのふりをし、かたつむりの囃子言葉にのって浮かれながら家に行こうと言い…。					
演目選択理由	いずれも鑑賞を通じて狂言や日本文化の特徴が感じられ、表現する楽しみを理解しやすい演目です。 「盆山」には様々な動物の物真似、パントマイム的な動きや見立て等、想像力を働かせて楽しむ、狂言の「型」による表現が多く登場します。「附子」は狂言の代表的な作品で、日常を舞台に人物の喜怒哀楽が豊かに表現される、親しみやすい演目です。「蝸牛」では謡と舞の掛け合いで、日本古来の間やリズムを楽しく体験することができます。					
児童・生徒の共演、参加又は体験の形態	本公演の「蝸牛」では、児童・生徒ははじめ参加者全員に太郎冠者役を受け持ってもらい、その囃子言葉と浮きの所作との掛け合いで山伏役の演者が舞うかたちで共演します。 事前ワークショップでは全員で囃子言葉と浮きの所作を稽古し、本公演までの期間も、出来る範囲での復習と、本公演のみ参加する児童・生徒への指導をお願いしております。 本公演では最後の復習してから本番に臨みます。 先生方にもワークショップへ積極的に参加していただき、授業の盛り上げと、復習時の指導に御協力をお願いしております。					
出演者	監修:野村 万作(重要無形文化財各個指定保持者(人間国宝)、文化功労者) 出演:石田 幸雄・深田 博治・高野 和憲 (以上、重要無形文化財総合認定保持者) 月崎 晴夫・竹山 悠樹・野村太一郎・岡 聡史・中村 修一・内藤 連・飯田 豪・野村裕基・石田淡朗 (以上、能楽協会会員)					
公演出演予定者数 (1公演あたり)	出演者: 5～6 名 スタッフ: 1 名 合 計: 6～7 名		機材等 運搬方法	積載量: 2 t 車 長: 5 m 台 数: 1 台		

【公演団体名 万作の会 】

実施に当たっての 会場条件	実施条件確認書①をご確認ください。					
会場設営の所要時間 (タイムスケジュール)の 目安	前日仕込み	無	会場設営の所要時間		40分～1 時間程度	
	到着	仕込み	本公演	内休憩	撤去	退出
	11時	11時～12時	13時～14時30分	10分	14:30時～15時	15時30分
	※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時30分からの概ね2時限分程度です。					
児童・生徒の 参加可能人数	ワークショップ	20名～100名程が最も効果的ですが、200名くらいまでは対応可能です。				
	本公演	100名(未満でも可)～400名程度				
ワークショップ 実施形態及び内容	・体育館のフロアを広く使います。見本を見せるためステージを使う時もあります。平均台や三角コーンがお借りできれば、フロアに能舞台の形を作り説明に使います。 ・児童・生徒さんは、運動しやすい服装(体操服)に靴下の格好で参加をお願いします。 ・狂言の歴史や特徴について説明した後、狂言のセリフ・動きの基礎を体験します。狂言の稽古にならい、挨拶から始め、指導者の真似を繰り返す形ですすめます。 ・本公演で共演する狂言「蝸牛」の実演(袴狂言、部分)を鑑賞した後、囃子言葉と浮きの型を稽古します。					
ワークショップ 実施形態の意図	・本公演と内容的につながりを持たせ、事前に狂言への理解を体験的に深めて頂くことで、本公演への興味と教育効果をいっそう高めます。 ・挨拶・正座など、日本の伝統的な礼儀作法への理解を深めます。 ・狂言の「型」による表現と稽古を通して、基本の大切さを感じて頂きます。 ・大きな声ではっきりとセリフをいい、大きく体を動かして所作をすることで、自ら体を使って表現することの本質的な魅力を体感して頂ければと存じます。					
特別支援学校での 実施における工夫点	演目は変えず、解説が理解の助けとなるよう工夫します。効果的な機材、方法があればぜひ使用させて頂きたく、事前の打合せを入念にできればと存じます(ろう学校での開催の際は、結末を伏せた台本を用意し、必要な生徒さんにだけ学校側から配布していただきました)。ワークショップも、開催校の先生方と相談の上、児童・生徒の皆さんが無理なく参加し、楽しみながら狂言の身体表現術を感じられる形をとらせて頂きます。					
実施可能時期	実施可能時期スケジュール表をご確認ください。					

れい わ さんねん ど
令和三年度

ぶん か げいじゅつ 文化芸術による子供育成総合事業

じゅんかいこうえん じ ぎょう —巡回公演事業—

まんさく かい
〈万作の会〉
のうがくこうえん
〈能楽公演〉



きょうげん か ぎょう
狂言「蝸牛」



たろうかじゃ
太郎冠者

ぶん か げいじゅつ こどもいくせいそうごう じ ぎょう 文化芸術による子供育成総合事業 —巡回公演事業—

わ くに いちりゅう ぶん か げいじゅつだんたい しょうがっこう ちゅうがっこうなど こうえん こども すぐ ふ たいげいじゅつ かんしやう き かい え
我が国の一流の文化芸術団体が、小学校・中学校等において公演し、子供たちが優れた舞台芸術を鑑賞する機会を得ることにより、子供たちの発想力やコミュニケーション能力の育成、将来の芸術家の育成や国民の芸術鑑賞能力の向上につなげることを目的としています。

し ぜん こども じつえん し どうまた かんしやう し どう おごら じつえん こども
事前のワークショップでは、子供たちに実演指導又は鑑賞指導を行います。また、実演では、できるだけ子供たちにも参加してもらいます。



じょうえんないよう
● 上演内容 ●

【解説】「狂言を楽しもう」(約20分)

【鑑賞】狂言「盆山」(約15分)

【鑑賞】狂言「附子」(約20分)

【共演】狂言「蝸牛」(約20分) — 大きな声で囃子言葉を唱えて一緒に浮かれよう！

きょうげん ほんさん
狂言「盆山」 …登場人物：2人(男, 何某)

ある男が、流行りの盆山(お盆の上に風景を作った置物)を盗もうと知りあい(何某)の家に忍び込むが、すぐに見つかってしまい物陰に隠れる。家主は隠れている男に、あれは盗人ではない、猿だ、犬だと言ってからかう。男は必死に動物の物真似をしてごまかそうとするが、最後に難問を出され…。

動物の物真似や、パントマイム的な動き、見立てなど、狂言の特徴的な「型」がたくさん登場する演目です。想像力を膨らませてご覧ください。

ことば せつめい
言葉の説明

ほんさん[盆山]…箱庭のように、盆や浅い鉢の上に石や砂で山の形などを作ったもの。

あんない[案内]…あいさつすること。

しわいひと[吝い人]…けちな人。

よしがき[葭垣]…葦を結んで作った垣。

つぼ[坪]…中庭。

ひととお[人音]…人のいる音、気配。

なむさんぼう[南無三宝]…驚いたり、失敗にきづいた時に発する語。大変だ。

なぶる[翫る]…からかう。

みぜせり[身ぜせり]…身体を細かく動かすこと。

きょうげん ぶす
狂言「附子」 …登場人物：3人(太郎冠者, 主, 次郎冠者)

太郎冠者と次郎冠者は主人(主)から留守番を言いつけられる。二人は主人から、猛毒の附子が入っているので決して近づくな、といわれた桶の中身が気になって仕方がなく、何とか桶の中を見ようと知恵を絞る。ようやく中を見ることに成功すると、今度はそれを食べてみたいと太郎冠者が言い出して…。

とんち話でも有名な、狂言の代表的な演目です。太郎冠者と次郎冠者の活躍とともに、「型」を使って豊かに表現される登場人物たちの喜怒哀楽にご注目下さい。

ことば せつめい
言葉の説明

ぶす[附子]…トリカブトという草の根を乾かして作った毒薬。

めっきやく[滅却]…死ぬこと。

じゅもん[誦文]…まじない。

きのどく[気の毒]…心配事。

どうしんでない[同心でない]…賛成しない。

わざをするものはかならずだまる[業をする物は必ず黙る]…ことわざ。崇りをするような者は決して騒ぎ立てたりせず、黙ってしずかに物事をするという意味。

りょうぜられる…魅了される。とりこにされる。

さとう[砂糖]…当時は黒砂糖。水あめの状態で保存されており、貴重品であった。

よいことめされた…実は良くないことを、わざと反
 対に言うことば。
 きこえぬ[聞こえぬ]…道理のない。わからない。
 ざれごと[戯れ事]…冗談。
 もっけいおしょう[牧谿和尚]…中国の絵描きの僧。
 その絵は日本でも好
 まれた。

ひそく[秘蔵]…大切にしまってある物。
 だいてんもく[台天目]…台にのせた大きな天目茶碗。
 てどり[手取]…相撲が上手な人。
 なんぼう…どれだけ。いかほど。
 かしらかたの[頭固の]…丈夫な。頑丈な。
 がっきめ…こいつめ。
 おうちやくもの[横着者]…ずるい奴。

きょうげん かぎゅう きょうえんたいけん 狂言「蝸牛」 ー 共演体験 ー

しゅじん そ ふ ちようじゆ くすり かぎゅう と たろう かじゃ ま ちが
 主人の祖父のため、長寿の薬になるというかたつむり（蝸牛）を取りにきた太郎冠者に、かたつむりと間違われた
 やまぶし やま しゆぎよう ちようのうりよく み そう たろう かじゃ いっしょ はやし ことば う
 山伏（山で修行して超能力を身につけた僧）が、かたつむりのふりをして、太郎冠者と一緒に囃子言葉で浮かれる
 ば めん えん
 場面を演じます。

★児童・生徒の皆さんは、太郎冠者になって、大きな声で山伏を囃してください。

やまぶし はや はや
 山伏：さあさあ、囃せ囃せ
 た ろ う か じゃ こころ え あめ かぜ ふ
 太郎冠者：心得ました。雨も風も吹かぬに でざかまうちわろ でざかまうちわろ
 やまぶし
 山伏：でんでんむしむし。でんでんむしむし。でんでんむしむし。でんでんむしむし
 た ろ う か じゃ あめ かぜ ふ
 太郎冠者：雨も風も吹かぬに でざかまうちわろ でざかまうちわろ
 やまぶし
 山伏：でんでんむしむし。でんでんむしむし。でんでんむしむし。でんでんむしむし
 あと えん ぎ お
 〈後、演技が終わるまでくりかえし〉

※でざかまうちわろ…「でざ」は「出すば」の縮まったもの。「かま」は「殻」のこと。
 「出てこないなら、殻を打ち割るぞ」という意味。

だんたいしょうかい まんさく かい 団体紹介 ー「万作の会」

まんさく かい にんげんこくほう の むらまんさく ちゆうしん こうえん おこな きょうげん し
 「万作の会」は、人間国宝・野村万作を中心に公演を行う狂言師のグループです。万作をはじめ、野村萬斎・石田幸
 お かんさく かい きょうげん し こくないがい おお きょうげん のうこうえん しゅつえん がっこう げきじょう かんきやく
 雄ほか「万作の会」の狂言師たちは、国内外で多くの狂言・能公演に出演しています。また、学校や劇場などで観客
 きょうげん たいかん おこな だいがく せんもんがっこう こうし し どう
 に狂言を体感してもらうワークショップを行ったり、大学やカルチャースクール、専門学校などで講師として指導を
 おこな きょうげん ふ きょうかつどう つと きょうげん すぐ ひょうげん ぎ ほう い あたら こころ と
 行うなどし、狂言の普及活動に努めています。また、狂言の優れた表現技法を生かした新しい試みにもしばしば取り
 く えん ぎ えんしゅつ たか ひょう か う
 組み、その演技・演出でも高い評価を受けています。

まんさく かい
 万作の会ホームページ <http://www.mansaku.co.jp>

★万作の会のYouTubeチャンネル「野村萬斎@狂言ござる乃座」では、
 の むらまんさい まんさく かい きょうげん し きょうげん かた
 野村萬斎をはじめとする万作の会の狂言師が、狂言の「型」をレクチャー
 どう が はいしん らんくた
 する動画を配信しています。ぜひご覧下さい。

時間帯
 距離
 換気に気をつけて、
 みなさんのチャレンジ
 Twitterで、シェア
 してみませんか？



鑑賞の手引き—「狂言を楽しもう」

狂言は、650年ほど前、室町時代に能とともに成立した、日本特有の伝統芸能です。能と狂言を合わせて「能楽」といいますが、能が伝説や歴史物語を題材に、登場人物の心情を謡（歌）と舞で表現する幻想的な劇であるのに対し、狂言はセリフとしぐさで写實的に話が進む、喜劇的な対話劇です。題材も私たちの身の回りで実際に起こるような小さな事件であることが多く、能と違って歴史上の人物はほとんど登場しません。

おろかな大名、たくましい家来、口うるさい妻、こけおどしの山伏、気弱な鬼、はては猿、狐、狸、茸や蚊の精までが登場し、日常生活の中で誰もが感じたことがありそうな心の動きを、洗練された笑いに表現しています。この狂言の笑いこそ真に人間らしい感情の表出であり、人間への賛歌であると言えるでしょう。

また、狂言は非常に優れた演技術を「型」として持っています。声を使うにも、しゃべる・語る・謡うという技があります。身体技術でもアクロバティックな技もあれば、様式的な舞もあり、またパントマイムのような写實的な所作もあります。

狂言は「素手の芸」と言われます。道具をほとんど使わず、声と身体だけで空間や時間を埋め、ないものがあるように見せるのです。想像力を働かせて自由にご覧下さい。



能舞台での上演のようす

知ってますか？～10月1日は「国際音楽の日」です～

1977年にユネスコの要請で設立された国際音楽評議会という会議で、翌年の1978年から毎年10月1日を、世界の人が音楽を通じてお互いに仲良くなり交流を深めていくために「国際音楽の日」とすることにしました。

日本では、1994年から毎年10月1日を「国際音楽の日」と定めています。

【令和4年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	C42	分野	伝統芸能	種目	歌舞伎・能楽	ブロック	C	区分	A区分
公演団体名	万作の会				制作団体名	株式会社 万作の会			

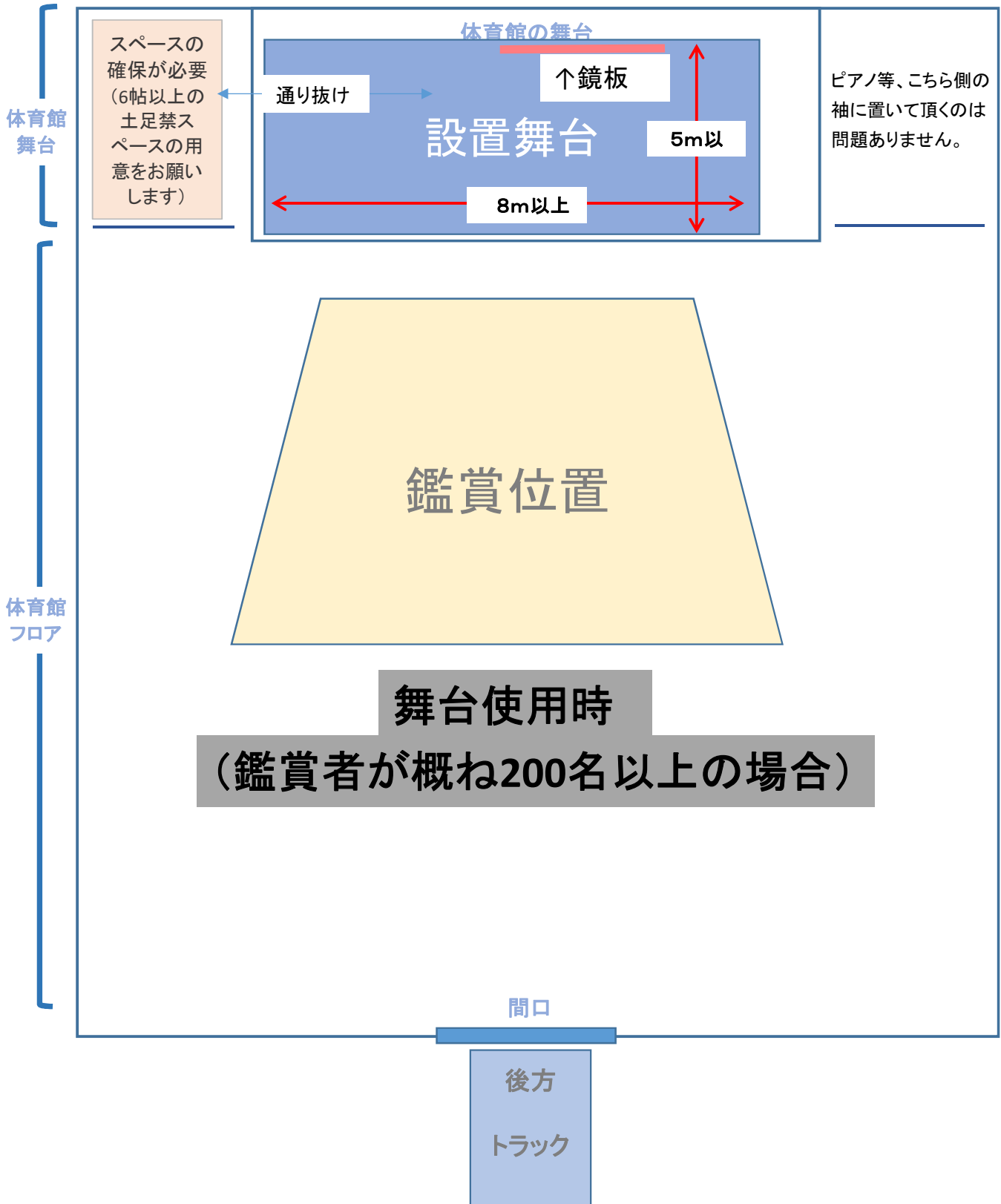
① 会場条件等についての確認

項目	必要条件等							応相談
控室について	必要数 *	1室	条件	舞台の下手袖に、衣装の着付けをする「装束部屋」を設置します(6帖以上の土足禁スペース)。場所は応相談				可
搬入について	来校する車両の大きさと台数 *			2tトラック	1台	乗用車	1台	不可
	上記車両について「応相談可」の場合、内容詳細							
	来校する車両の内、横づけが必要な車両の大きさ			2tトラック				可
	搬入車両の横づけの要否 *			要				可
	横づけができない場合の搬入可能距離 *			30m以内				可
	搬入経路の最低条件			・できる限り階段のない経路が望ましい。 ・屋根のある経路が望ましい。				可
	理由			鏡板等、舞台大道具の搬入をするため				
	設置階の制限 *			エレベーターの設置等があれば2階以上も可				可
	搬入間口について 単位:メートル		幅	1.5m	高さ	1.8m		不可
WSIについて	参加可能人数	20名～100名程が最も効果的ですが、200名くらいまでは対応可能です。						可
	学年の指定の有無 *	なし	指定学年 *	高学年	中学生			可
	所要時間の目安 単位:分	基本的に90分						可
本公演について	会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間		※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)」の目安を御参照ください。					
	鑑賞可能人数		400名程度まで					可
	舞台設置場所 *		ステージ上への設置・フロアへの設置ともに対応可能					可
	舞台設置に必要な広さ 単位:メートル	幅	8m以上	奥行	5m以上	高さ	特になし	可
	体育館の舞台を使用する場合の条件	舞台袖スペースの確保 *			要			不可
		舞台袖スペースの条件 *			舞台下手(向かって左側)袖に、装束部屋として6畳以上のスペースの確保が必要			不可
		緞帳 *	不要		バトン *	不要		—
	遮光(暗幕等)の要否 *		不要	理由				—
	ピアノの調律・移動の要否 (調律費・移動費は経費対象外です)	指定位置へのピアノの移動 *	不要	※指定位置は会場設置図面にて御確認ください。				—
		ピアノの事前調律 *	不要				—	
	フロアを使用する場合の条件	バスケットゴールの設置状況 *	格納されていれば可				可	
	公演に必要な電源容量		不要	※主幹電源の必要容量				—
	その他特記事項							応相談
舞台をステージ上に設置する場合、ピアノを含めステージ上にはできるだけ物がないことが望ましいですが、演技・鑑賞の妨げにならなければ置いたままでも結構です。							可	

会場図面(表記単位:メートル)

搬入間口について	幅	1.5m	高さ	1.8m
搬入車両の横づけの要否		要		
横づけができない場合の搬入可能距離		30m以内		

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。



会場図面(表記単位:メートル)

搬入間口について	幅	0	高さ	0
搬入車両の横づけの可否		0		
横づけができない場合の搬入可能距離		0		

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

